

オープン・コム

No.19
2007.12

Open Com



Contents

- 02 脳卒中センターにおける地域連携の取り組み
- 04 当院の実力 脳神経外科編
- 06 トピックス：RIS/PACSシステムを導入しました
- 07 トピックス：母子医療センター開設祝賀会報告
中庭をリニューアルしました
- 08 かかりつけ医さんこんにちは
- 10 患者情報室ラヴェンダーニュース（増刊）
- 11 患者相談室より
- 12 当院の活動内容を掲載している記事
- 14 各種教室
- 15 公開講座
- 16 大阪厚生年金病院のご案内

 **大阪厚生年金病院**
<http://www.okn.gr.jp/>

日本医療機能評価機構認定病院
大阪府「男女いきいき・元気宣言」登録事業者
「働きやすい病院」認定病院(第1号)
につけい子育て支援大賞受賞

地域に根ざした脳卒中診療をめざしています

日本の高齢化が急速に進んでいる今、脳卒中の日常生活や社会に与える影響はますます大きくなっています。厚労省の統計によると、脳卒中は介護が必要となる原因疾患として、また65歳以上の高齢者医療費のいずれでも一位を占める重要な病気です。脳卒中は生命にかかわる危険な病気であるだけでなく、患者さんやご家族の日々の生活が制約を受ける社会生活上も重要な病気です。

このように、高齢を迎える多くの人に関わりのある脳卒中に対して、エビデンス（疫学的な証拠）に基づいた最高の治療が期待されています。

大阪厚生年金病院では、4名の脳卒中学会専門医、2名のリハビリテーション学会認定医の医師をはじめとして、看護師、リハビリテーション技師（理学療法士、作業療法士、言語療法士）、ソーシャルワーカーなど各部門が脳卒中ケアユニット、脳卒中カンファレンスを通じて協働して治療にあたっています。また、最近話題の血栓溶解療法や、緊急手術などの脳卒中超急性期治療に対応するため、脳神経外科医・神経内科医による脳卒中当直体制と、MRI・CT・脳血管撮影に常時対応できる放射線技師当直体制を整備しました。

24時間体制で国際水準の脳卒中医療を提供することで、患者さんや、かかりつけ医の先生方に安心していただける診療体制をめざしています。皆様のご意見、ご要望をお待ちしています。



脳神経外科部長
大槻 秀夫



神経内科部長
上田 周一

大阪厚生年金病院の理念

1. 高度で安全な医療を目指します
2. 患者様の立場に立って、心温まるケアに専念します
3. 近隣のかかりつけ医と連携し、地域の医療と福祉を推進します
4. 人を癒し、人を活かす職場であることを誇りとします

看護部の理念

1. 看護師は、人間の生命と、人間としての尊厳および権利を尊重いたします。
2. 看護師は、人々の健康の増進、疾病予防、健康回復、苦痛を軽減することにおいて責任をもって看護活動を行います。
3. 看護師は、地域社会と連携を持ち、住民のニーズにあった看護を提供いたします。
4. 看護師は、常に看護水準を確認し、看護サービスの質的向上を図り、可能な限り高度な看護を提供いたします。

脳卒中センターにおける 地域連携の取り組み



脳神経外科部長
(脳卒中担当)

藤田 敏晃

当院脳卒中センターでは、地域連携の強化で患者さんの早期回復に効果を上げています。センターで地域連携に熱心に取り組んでいる脳神経外科（脳卒中担当）の藤田部長にQ&A形式で紹介してもらいました。

Q そもそも地域連携を強化しようと思ったきっかけは何ですか？

A ここ大阪は、一人の患者さんが急性期の治療を受けて自宅退院されるまでをひとつの病院でみるという病院完結型の地域ではなく、病気の急性期は急性期病院で治療し、リハビリは回復期リハビリテーション病院（以下、回復期リハ病院）で行うという地域完結型の地域になっています。

私が当院に赴任した平成15年には脳卒中センターという仕組みはあったのですが、まだオンコール体制での患者受け入れをやっているのみでした。そこで病院側の協力の下、当直体制をつくり24時間脳卒中を受け入れるようにしたところ患者さんが大幅に増えました。

脳卒中の患者さんは入院期間が長く、多くのベッドがそのために占有されるようになります。すると他科の患者さんが入院できなくなるケースが始めました。自宅に帰れる人も多いのですが、重症者や高齢者は、なかなか当院から直接自宅への退院ができません。回復期リハ病院に転院していただきそこから自宅への退院を目指すということになります。しかし回復期リハ病院との連携がうまくいってなかったために、スムーズに回復期リハ病院への転院がなされていませんでした。

最近では早期のリハビリが患者さんの社会復帰を早くするということが明らかになっていますので、一日も早い回復期リハ病院への転院が望まれるわけです。従って地域連携の強化ということが重要なポイントになったわけです。

Q 具体的にはどのように行ったのですか？

A 療養福祉相談室の方と一緒に、大阪市内、尼崎市、吹田市、高槻市の回復期リハ病院を13ヶ所ほど訪問しました。

Q その中で森之宮病院と連携しようと思ったわけですね。

A そうです。森之宮病院は全国的にも有名な病院で、システムの的にも確立されたものを持っておられました。そして何よりも「一緒にやりましょうよ。」と言ってくれたことが大きいですね。他にも積極的に連携に取り組んでおられる病院があり、そういったところとの連携も今始めているところです。

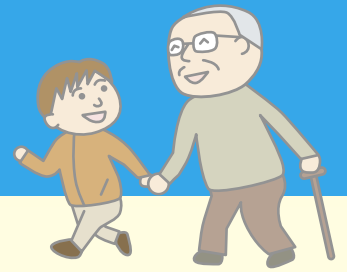
Q 実際の連携方法を教えてください。

A 年に3～4回、医師、看護師、リハビリテーション技師、ソーシャルワーカーなどが集まって紹介患者さんのその後の経過や問題点などについての検討や、その時々の特ピックスのようなものをレクチャーするといった形で行っています。また、連携パス*¹の作成もその場で行っています。

Q 効果はありましたか？

A 回復期リハ病院が転院に際してどのような情報が欲しいのかということがわかるようになりましたし、何よりもお互いの顔がわかっての紹介ということで非常にスムーズに転院が行われるようになりました。早い場合には、電話して3日後に転院できたケースもあります。

以前、脳神経外科学会で熊本の先生が、熊本は病診連携の先進地域で「電話1本1週間」つまり、電話したら1週間で転院できるんですよということを自慢しておられました。その時は熊本のような特殊な地域、大きな限られた病院しかない地域だからできる夢のようなお話だなあと感じていたのですが、それが現実のものになりつつあります。従来は紹介状を持って患者さんの家族がまず面



接に行き、次いで判定会議にかけられ、入院決定されてからベッドの空くのを待つという形でしたが、面談～判定会議のあたりが省略されて直接ベッド待ちになるため早くなっているようです。

Q 今後はどのように展開していく予定ですか？

A 今、済生会中津病院と同様の取り組みをしようとしています。すでに何度か会合をもって進めている最中です。今後は、さらに多くの病院と連携を深めていきたいと思っています。現在のところまだ夢のような話ですが、連携パスに関しては急性期病院がある程度集まって作成したほうがいいと考えています。近隣の脳神経外科、神経内科のある急性期病院で一部共通した連携パスが作ればと思っています。それから社会復帰された患者さんが二度と脳卒中を起こさないようにするためのケアが重要になってくるわけで、そのためにはかかりつけ医の先生の協力が必要です。今後はかかりつけ医の先生方も参加される形での、地域連携をしていきたいと考えています。

Q 脳卒中ケアユニット 池田栄子看護師長より連携を始めての印象はどうですか？

A 何とんでも転院までの期間が非常に早くなりました。患者さんにとって集中的にリハビリテーションを早期に始められることによって社会復帰もかなり早くなっているのではないかと考えています。それから、患者さんのその後の経過が定期的なミーティングによってわかるようになりました。このことは今後の急性期看護を考えていく上で非常に参考になっています。また、相手の顔がわかり、仲間意識が生まれたということも大きいですね。



Q 最後に連携先である森之宮病院の畠中めぐみ先生にお話をお伺いしました。

A 貴院との連携は、発起から開始まで相思相愛でもあり大変順調に進みました。紹介から転院までスムーズに運ぶために、紹介方法を見直し転院ま

での手続きを簡易にしました。また藤田先生の企画してくださった年に数回の交流会では症例の勉強を積み重ね、急性期病院が回復期リハ病院に求めることやその逆など、お互いを知ることによって双方のレベルアップができています。



連携をきっかけに、お電話で直接お話しする機会が増えたことで、お互い顔の見える信頼関係が築けており、これは脳卒中リハビリだけでなく、合併症治療など多岐にわたり大切なことだと実感しています。

私たち医療者にとって患者さんの退院後の様子は、自分たちの医療が適切であったか大変気になるところであり、最近では当院入院中の経過や退院時の状況を貴院に詳しくお返しすることにも力を注いでいます。

何より患者さんにとっては、無駄な重複した検査を受ける必要はありませんし、また回復の大切な時機を逃さず有意義に、自宅や社会復帰までのシームレスな（途切れ目のない）医療をうけていただけるメリットは大きいと思います。

*1 連携パス（地域連携クリティカルパス）

「クリティカルパス」とは患者さんの入院から退院までの治療計画の内容を記したもの。

手術や検査の予定や、食事や入浴の開始日などが記載されている。

「連携パス」とは病院内で活用していたクリティカルパスの範囲を、地域の病院等に拡大したもの。連携パスの活用で、転院先でも継続して計画的な治療を続けることができる。



森之宮病院との合同カンファレンス

診療内容・特色

脳血管障害	クモ膜下出血（脳動脈瘤破裂、脳動静脈奇形） 脳出血 脳梗塞、脳血管狭窄・閉塞症
脳腫瘍	原発性脳腫瘍（神経膠腫、髄膜腫、下垂体腺腫など） 転移性脳腫瘍
頭部外傷	慢性硬膜下血腫 頭部外傷一般
その他	正常圧水頭症、脊髄のう胞、脊髄腫瘍など脊髄硬膜内病変
脳神経外科救急	脳卒中当直が常時対応しています

特色

- 患者さんの立場から、納得のいく、安心できる治療をめざしています。
- エビデンスに基づいた国際水準の診療を心がけています。
- 定位放射線治療（ガンマナイフ）などでは、他院と連携し、最適な治療をめざしています。
- 脳卒中など、救急疾患にも脳卒中当直による24時間体制で対応しています。常時、MRI・CT・脳血管撮影などの画像検査や手術が可能です。



脳卒中カンファレンス

診療実績 (2006年1月1日～12月31日)

入院患者数	432名
脳血管障害	231名
脳腫瘍	46名
頭部外傷	97名
その他	58名

手術件数	153件
脳血管障害	41件
脳動脈瘤クリッピング術	12件
脳内血腫除去術	8件
頸動脈内膜剥離術	5件
脳血管バイパス術	4件
脳動静脈奇形切除術	3件
その他	9件
脳腫瘍	25件
原発性脳・脊髄腫瘍摘出術	12件
転移性脳腫瘍摘出術	10件
その他	3件
頭部外傷手術	33件
慢性硬膜下血腫手術	25件
開頭血腫除去術	7件
その他	1件
脳血管内手術	11件
脳動脈瘤コイル塞栓術	8件
その他	3件
その他 小手術など	43件

スタッフ紹介



大槻 秀夫 部長

- 専門** 脳卒中の治療・予防
超音波支援脳外科手術
- 経歴** 1979年 大阪大学医学部卒業
- 資格** 大阪大学医学部 臨床教授
医学博士
日本脳神経外科学会専門医
日本救急医学会専門医 (1993～1998)
日本脳卒中学会専門医
麻酔科標榜医
- 得意とする手術**
脳卒中の外科治療
超音波支援低侵襲脳腫瘍手術



藤田 敏晃 部長 (脳卒中担当)

- 専門** 脳卒中の外科
脳外科一般
- 経歴** 1983年 広島大学医学部卒業
ドイツ マックスプランク研究所留学
(1993～1995)
「脳虚血と低体温の研究」
- 資格** 医学博士
日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医
日本救急医学会専門医 (1988～1996)



鈴木 強 医長

- 専門** 脳神経外科一般
- 経歴** 1995年 近畿大学医学部卒業
2004年 大阪大学大学院医学系研究科修了
- 資格** 医学博士
日本脳神経外科学会専門医



患者さん、一般の方への メッセージ・お願い

- 初診の患者さんは、できればかかりつけ医の紹介状やレントゲンなどの検査結果をもって受診してください。
- 安心できる、納得のいく国際水準の医療をめざしています。わからないこと、質問事項があればなんなりとお尋ねください。
- なお、当院は急性疾患を対象とした病院です。リハビリテーションや療養を目的とした入院はできません。



かかりつけ医の先生への メッセージ・お願い

- 脳神経・血管に関する疾患についてお気軽にご紹介ください。



脳神経外科、脳卒中診療 を目指す研修医の皆さんへ

- 当院脳神経外科では、外科手術のみならず脳卒中センターで国際水準の脳卒中治療も行っています。手術は性格的に合わないが、脳卒中診療を体験してみたいという希望にも、脳卒中センター研修として対応しています。
- 脳卒中は要介護となる原因疾患、65歳以上の高齢者医療費の原因疾患として第一位、また、死亡原因としても第三位の重要な疾患です。すなわち、脳卒中は認知症や寝たきりなど高齢者自身の生活の質に直接関係するのみならず、家族や社会に負担をかける疾患でもあります。高齢化するこれからの日本では脳卒中对策はますます重要になります。
- 研修指導は主として脳神経外科が担当します。SCUなど病棟での治療のみならず、頭部CT、脳MRI・MRA検査、脳血流SPECT、脳血管撮影など画像診断にも習熟してください。ぜひ、脳卒中センター、脳神経外科研修を体験してください。脳卒中専門医4名、脳神経外科専門医3名、神経内科専門医2名が研修指導にあたります。

RIS/PACS システムを導入しました

2007年9月3日より放射線科で
新しい画像診断・管理システムが稼動しました

RIS (Radiology Information System : 放射線情報システム) は、画像診断を受けられる患者さんを確認し、適切な撮影を行い、フィルムをお渡しする、また以前に撮影したフィルムの貸し出しなどの過程を管理するシステムです。

今までは患者さんのお名前や ID を一つひとつ手で入力していましたが、これらの情報も自動で機械に転送されるため、間違いの防止に大変役立ちます。



PACS システム稼動の様子

PACS (Picture Archiving and Communication System : 画像保存管理システム) は CT や MRI、単純写真などの画像データをコンピュータ上に保管し、運用するシステムです。放射線科医による CT や MRI の読影はフィルムではなく、コンピュータで保管された画像を専用のモニターで見に行きます。フィルムに焼き付けられた画像とは違い、白黒や拡大を自由に変えられ、長さも正確に計測することができます。レポートは手書きでなくコンピュータに入力することになりましたので、以前よりも読みやすいレポートとなりました。

また、保管されている画像やレポートは、フィルムがなくても、オーダリング端末さえあればいつでもどこでも見ることが可能であり、診察室や病棟でフィルムやレポートを待つ・探す時間を少なくできる効果が期待されます。

放射線科では、これらのシステムを用いて、より正確でスピーディな検査と診断を行えるよう努力しています。

(放射線科 画像診断担当部長 吉村 敦子)

母子医療センター開設祝賀会報告

広報誌「オープン・コム」18号でご紹介いたしました母子医療センターの開設祝賀会を2007年7月12日にリーガロイヤルホテル大阪で開催しました。

祝賀会には新生児診療相互援助システム(NMCS)および大阪産婦人科相互援助システム(OGCS)の代表、大阪の周産期医療に造詣の深い政界あるいは大学関係者を始めとして、当院が病診連携でいつもお世話になっております医院、助産院の先生方102名にご参加いただき、当院関係職員58名を加え、総勢160名で盛大に執り行われました。

現在、全国的に勤務医、特に産婦人科医、小児科医が不足しています。このため地方のみならず、大阪市内の病院でも産科診療、小児科診療の縮小・閉鎖が相次いでいます。このような社会情勢の中、周辺地域から当院の周産期医療に寄せられる期待は非常に大きいことを、来賓の方々の数多くのご挨拶より感じました。

皆様のご期待にお応えすることができるよう、当センターに課せられた使命を果たすべく更なる努力をしてみらねばならないと、気が引き締まる思いでした。なお、すでに分娩数は前年より非常に増加しつつあります。

(母子医療センター 副センター長 兼 産婦人科部長 小川 晴幾)



中庭をリニューアルしました

このたび、1階中庭をリニューアルし、2007年8月より皆様にご利用いただけることになりました。庭内はウッドデッキを敷き詰め、花壇やベンチも備え、さわやかな雰囲気になりました。

天候の良い日中の時間帯にオープンしています。オープン中はご自由にお入りいただけます。ご来院時の憩いの場としてご利用ください。

庭内も禁煙となっております。



かかりつけ医さん こんにちは

大谷クリニック

院長 大谷 遷

〒550-0003 大阪市西区京町堀 1-9-9

TEL 06-6441-1980 06-6441-7001

FAX 06-6441-0189 06-6441-7001

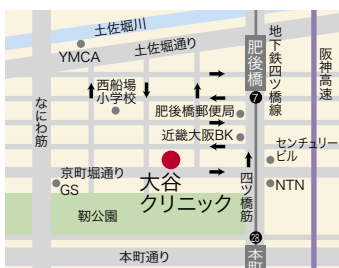
ホームページ <http://www8.ocn.ne.jp/~ohtanic/>

Eメール ohtanic@io.ocn.ne.jp
ohtanic@nifty.com

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○
13:30~15:00	○	○	○	○	○	—

※土曜は9:00~13:00

※第1、第3火曜日の午後は
15:30~17:00です



診療科目
内科/小児科/婦人科
(婦人科は第2・第4火曜日の
13:30~15:00です)

往診

時間外なら可能

休診日 日曜・祝日

駐車場 有(2台)

●地下鉄四ツ橋線「肥後橋」駅下車、7番出口から
徒歩5分



大谷先生

曾祖父(医師免許証7番)が今の場所で大谷医院を開業、私で、4代目です。

戦災で焼失した跡に父が1948年に大谷医院を建てましたが、1978年に病に倒れたので、市民病院を退職して跡を継ぎました。父の建てた医院も老朽化し、この辺りもオフィス街になったので、1990年にビルに建替え、将来を見越して、健康診断も出来るように、検査設備も整え、名前も大谷クリニックと改めました。午後の診療時間は産業医、警察医、結核診査委員会、学校や幼稚園の健康診断などの関係で、15:00頃からになる事がありますが、ホームページに予定を書いておりますので、参考にして下さい。

小田胃腸科

院長 小田 徹也

〒553-0002 大阪市福島区鷺洲 3-5-10

TEL 06-6458-2004

FAX 06-6458-2181

ホームページ <http://www2.osk.3web.ne.jp/~teoda/>

Eメール teoda@osk2.3web.ne.jp

診療時間	月	火	水	木	金	土
10:00~13:00	○	○	○	○	○	○
17:00~19:00	○	—	○	—	—	—



診療科目

消化器一般

往診

有

休診日 日曜・祝日

駐車場 無

●阪神「野田」駅、地下鉄千日前線「野田阪神」駅
下車、徒歩10分



小田先生

私ども第一線医は、地域の皆さんの健康を守るべく、日々努力している。大阪厚生年金病院および関電病院は地域の基幹病院として、常に私どもへのご指導をいただき感謝の日々である。私は、消化器外科医故に現在は消化器疾患について、手術、その他の治療について患者さんからご相談を受け、またレントゲン透視、内視鏡検査を実施し、適切なアドバイスを行っている。外科医療はあくまでもチーム医療であり、手術をお願いした困難な症例も常にベッドサイドにて患者さんを激励し支援申し上げている。

病診連携で日頃お世話になっている
かかりつけ医さんをご紹介します。



医療法人 ごとう皮膚科

院長 後藤 靖

〒554-0021 大阪市此花区春日出北 1-2-1

TEL 06-6464-4112

FAX 06-6464-4122

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	-	○	○
16:00~19:00	○	○	○	-	○	-



アクセス

● 阪神西大阪線「千鳥橋」駅下車、徒歩10分

診療科目

皮膚科/アレルギー科

往診

無

休診日 木曜・日曜・
祝日

駐車場 無



後藤先生とスタッフの皆さん



200年に此花区で皮膚科・アレルギー科を開業しました。この間に、地域のかかりつけ医として、あらゆる皮膚疾患に携わっております。

重篤な患者様は、すぐに厚生年金病院の諸先生方が迅速な対処をしていただき感謝しております。

これからも厚生年金病院との病診連携を図りながら、地域のかかりつけ医として努力してまいります。

森山眼科医院

院長 森山 穂積

〒553-0005 大阪市福島区野田 3-15-6

TEL 06-6461-0723

FAX 06-6466-0723

診療時間	月	火	水	木	金	土
10:00~12:00	○	○	-	○	○	○
16:30~18:30	○	○	-	○	○	-



アクセス

● JR 環状線「野田」駅下車、地下鉄千日前線「玉川」駅下車、徒歩5分

診療科目

眼科

往診

有

休診日 日曜・祝日・
水曜日・
土曜日午後

駐車場 無



森山先生



父の代から、年金病院には長年お世話になってきました。現在は親しみのもてる年金病院に変身しました。また、病診連携を丁寧に、地域連携を円滑に運営していただき感謝しております。

今後とも、年金病院が開業医とともに、住民の健康の安全と安心を第一に、診療していただけるようよろしくお願いいたします。

患者情報室 Lavender News 「ラヴェンダー」ニュース 増刊

通常号は随時1階 図書返却BOXにてお配りしています

患者情報室とは

患者さんが医療の情報を得たり、自己学習の場として、また、病院内でゆったりとした気分になっていただける空間として無料でご利用いただける施設です。

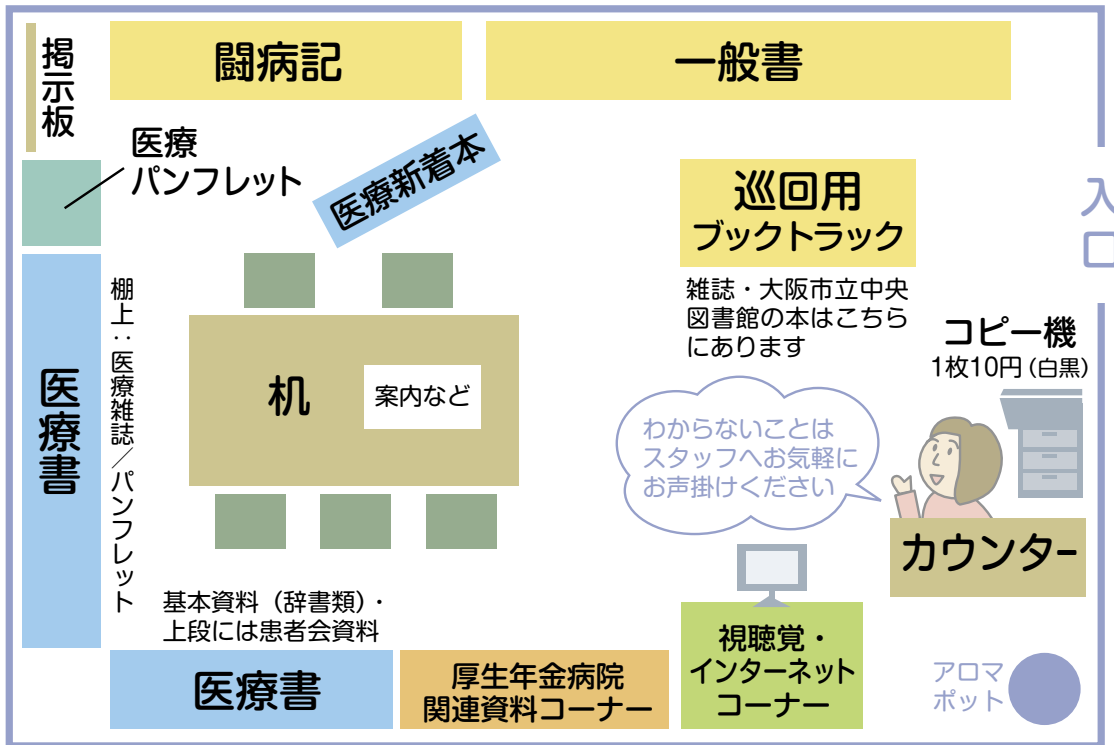
OPEN 月・水・木・金・土

※開室時間は院内の掲示かお電話でご確認ください。
(通常 10:00 ~ 16:00)

場 所 別館1階
(スポーツ医学センター横)

室内には、室名の由来となったラヴェンダーの大きな花写真が飾られ、心地よい香りと音楽が流れています。どうぞお気軽にお立ち寄りくださいませ。

ラヴェンダー室内図



ラヴェンダー人気図書を紹介します

医療書



分 類：がん
発 行：がん患者サービスステーション TODAY (2007年)
書 名：体験者が伝える 乳がん安心！生活 BOOK 2版
著 者：TODAY!編集部
価 格：2,415円
(ISBN: 4903118010)

【紹介】

入院準備、治療中の注意点、療養生活でのセルフケアまで、がんを経験された方々による情報発信書です。誰かに尋ねるのはちょっと…と困った時、この本をひらいてみてください。多くのカラー図を用いた説明はわかりやすく、「闘病中に、手元に置いてほしい資料」と好評です。

一般書



分 類：闘病記 疾病9
発 行：マキノ出版 (2003年)
書 名：凄絶な生還 うつ病になってよかった
著 者：竹脇 無我
価 格：1,365円
(ISBN: 4837670156)

【紹介】

時代劇などでおなじみの著者が、うつ病と診断された8年間の闘病生活を振り返りながらつづった書です。「死の衝動」から生還した著者の気取り無い言葉が胸を打ちます。巻末には、精神科医によるうつ病関連用語説明があります。ラヴェンダー OPEN 当初から貸出数の多い人気書となっています。

本年5月から9月末まで投書箱「みなさまの声」に寄せられた件数は18件で、患者相談室に寄せられた相談等は87件です。
その中の苦情及びご意見の一部をご紹介します。

Q 病室のテレビでNHKのニュースが何故兵庫中心なのですか。

A 病院周辺の高層ビルの影響で大阪NHKの映像が悪く、見えにくいいため、兵庫の映像になっています。現状では映像の改善は難しいため、今後、アナログ放送が地上デジタル放送へ切り替わった時に対策を講じます。

Q 本人確認の氏名呼応に何の意味があるのでしょうか。何度も確認されるのは不信感を感じます。

A 当院では安全な医療を目指すことを理念としています。点滴や採血時に患者さんを間違えないためにお名前前の確認をさせていただいていますので、ご理解、ご協力をお願いいたします。

Q 受診したら左鎖骨遠位骨折と診断され、近医への紹介状をもらいましたが、フィルムはもらいませんでした。そのため紹介先の病院でまた撮影をされました。

A 骨折と診断された時は他院への紹介状と共にフィルムを貸出しているのですが、今回はお渡しできていませんでした。今後は文書で患者さんにフィルム貸出の手続きについてご説明申し上げ、チェックするシステムにいたしました。

Q 乳がんでリニアック中です。男性技師ばかりなので女性技師の配置をお願いします。

A 今後、女性技師もしくは女性看護師を配置する方向で検討しています。



《重要なお知らせ》 病院敷地内 全面禁煙

当院は病院敷地内全面禁煙です。

患者さんへの
お願い

当院での 整形外科初診・再診 の取り扱いについて

当院では、**整形外科の初診は他医療機関からの紹介患者さん限定**とさせていただきます。

受診ご希望の際は、先ずかかりつけ医の先生にご相談いただき、先生を通じてご予約いただきますようお願いいたします。

また、紹介状をお持ちであれば患者さんからの予約もお取りできますので下記までご連絡ください。

なお、予約をされていない方は、紹介状をお持ちでも診療開始がかなり遅れることがありますのでご了承くださいませようお願いいたします。

再診も、初診と同様にすべて予約制です。

診察室が予約の患者さんで常時ふさがっているため、紹介状なしや予約なしに受診された場合、診察室や診察医師の手配ができませんのでご了承ください。

(地域医療連絡室)
TEL (06) 6441-5451 (代)
AM 9:00 ~ PM 5:00
(土日祝日を除く)

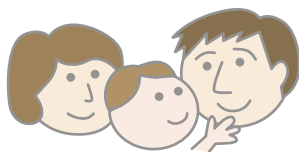


各種教室

両親学級

問 申 大阪厚生年金病院産婦人科外来 電話 06-6441-5451 (内線 2279)

- 開催日/毎月第1、2、3水曜日
- 時間/13:30～15:30
- 場所/当院2階 第1会議室
- 費用/1,000円(3回分)



腎臓病教室

問 大阪厚生年金病院血液浄化センター 電話 06-6441-5451 (内線 2667)

- 場所/当院2階 第1会議室
- 費用/無料
- 方法/事前申し込み不要、直接お越しください。

開催日	時間	テーマ	対象	担当
2008年1月24日(木)	13:30～14:30	腎臓病と薬	主に慢性腎不全患者さん(保存期)	薬剤部
2008年2月28日(木)	13:30～14:30	腎臓病と検査(データの読み方)	主に慢性腎不全患者さん(保存期)	検査部
2008年3月27日(木)	13:30～14:30	透析療法について ①血液透析の実際 ②腹膜透析の実際	主に慢性腎不全患者さん(保存期)	医師 (看護師)

糖尿病教室

問 大阪厚生年金病院内科外来 電話 06-6441-5451 (内線 2274)

- 費用/無料
- 方法/事前申し込み不要、直接お越しください。

※1月はお休み

開催日	時間	場所	テーマ	担当
2008年2月7日(木)	14:00～16:00	当院2階第1会議室	生活習慣病と糖尿病 …………… 食事療法の基本 …………… 自己管理法(体重・尿糖・血糖・血圧測定など) …	医師 管理栄養士 看護師
2008年3月6日(木)	14:00～16:00	当院2階第1会議室	糖尿病治療の基本 …………… 始めよう食事療法! …………… 血糖を下げる薬 ……………	医師 管理栄養士 薬剤師
2008年4月3日(木)	14:00～16:00	当院2階第1会議室	糖尿病の合併症(目・腎臓・神経) …………… 糖尿病の検査いろいろ …………… 足に注意 ……………	医師 臨床検査技師 看護師

〈院外会場〉

開催日	時間	場所	テーマ	担当
2008年5月1日(木)	14:00～16:00	コミュニティー プラザ大阪*	健康講座 「知って得する健康のはなし!!」	医師 看護師 薬剤師 管理栄養士 歯科衛生士

※ コミュニティープラザ大阪 は、右ページアクセス図をご参照ください。

禁煙教室

問 大阪厚生年金病院内科外来 電話 06-6441-5451 (内線 2274)

- 開催日/毎月第1、3金曜日
- 時間/16:00～17:00
- 場所/当院2階 第1会議室
- 費用/無料
- 方法/事前申し込み不要、直接お越しください。



問 は問い合わせ 申 は申し込みを表しています

公開講座

どなたでも参加できます

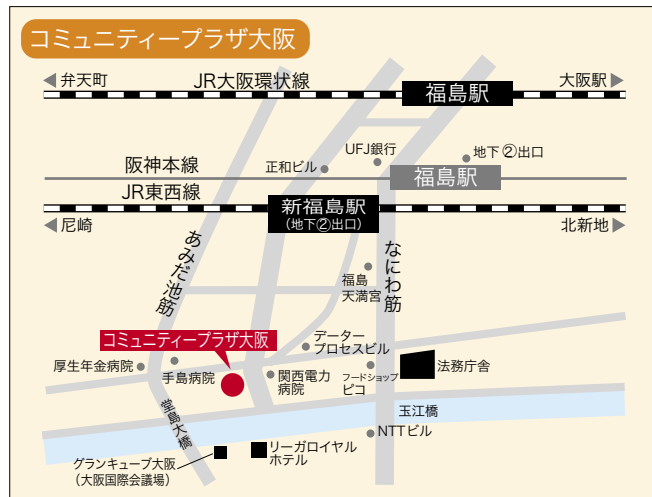
消化器病 懇話会

問 大阪厚生年金病院内科外来
☎ 06-6441-5451 (内線 2274)

- 費用／無料
- 方法／(当院通院中の方) 事前申し込み不要。直接お越しください。
(上記以外の方) 当院 1 階予約センター窓口で事前にお申し込みください。

※申し込み受付はおおむね開催日の1ヶ月前からです(詳細については、お電話でお問い合わせください)。

受付時間：平日 8:30～17:15



開催日	時間	場所	テーマ	担当
2008年1月19日(土)	14:00～16:00	当院2階第1会議室	ウイルス慢性肝炎の抗ウイルス治療 ーインターフェロン治療を中心にー	片山部長
2008年3月22日(土)	14:00～16:00	コミュニティプラザ大阪*	肝臓病管理のエッセンス 肝硬変編	片山部長

※ コミュニティプラザ大阪 は、上記アクセス図をご参照ください。

院内の公開講座

対象：医療従事者

院内の公開症例検討会

問 大阪厚生年金病院(地域医療連絡室) ☎ 06-6441-5463

乳腺疾患 カンファレンス	第1・3 水曜日	2階 第2会議室	17:30～19:00
手の外科診療班 症例検討会	第1金曜日	2階 第1会議室	19:00～21:00
脳卒中 カンファレンス	毎週火曜日	4階 カンファレンス室	17:00～18:30
婦人科腫瘍 症例検討会	第4木曜日	2階 第2会議室	17:00～19:00
臨床病理検討会 (CPC)	毎月 最終水曜日	看護学校 視聴覚室*	18:00～19:00

院内で行われる症例検討会であり、緊急手術や学会により中止になることがあります。恐縮ですが、開催日の1週間以内に地域医療連絡室(TEL 06-6441-5463)にご確認ください。

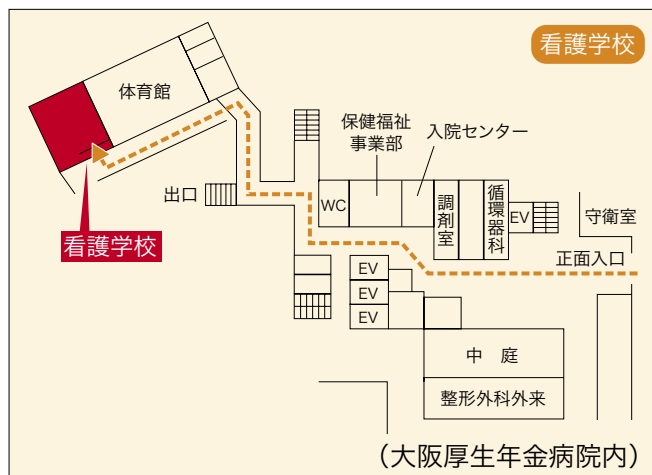
※ 看護学校 は、右記アクセス図をご参照ください。

中之島ストローク・カンファレンス

問 大阪厚生年金病院脳神経外科外来
☎ 06-6441-5451 (内線 2272)

- 開催日／2008年1月30日(水)
- 時間／19:00～21:00
- 場所／当院別館第2会議室
- テーマ／脳血管障害の画像と病理 症例検討会
- 講演者／宇高 不可思先生(住友病院 診療局長・神経内科主任部長)
- 費用／無料
- 方法／事前申し込み不要、直接お越しください。

※参加対象者限定…住友病院神経内科、関西電力病院神経内科、当院脳卒中センターが集まっての勉強会です。医療関係者で興味のある方は奮ってご参加ください。



外来診療 受付時間
 8:30~11:30 (土・日・祝日を除く)
 初診の方は、「紹介状」をお持ちの上、かかりつけ医の先生から初診予約をしてもらってください。整形外科は紹介状なしでは受診できません。

一般病棟 面会時間
 12:00~21:00 平日(月~金)
 10:00~21:00 土・日・祝日



かかりつけ医の先生専用 診療・検査予約先

患者さんからのFAXお申し込みはできません。患者さんはかかりつけ医の先生を通じてご予約ください。

地域医療連絡室 (診療予約) (受付時間 8:30~19:30)
 FAX (06) 6441-0512 TEL (06) 6441-5463 (直通)

予約センター (検査予約) (受付時間 8:30~17:00)
 FAX (06) 6459-4599 TEL (06) 6441-5451 (内線2153)

診療科等一覧

- 救急部 / プライマリケア 教育研修センター
- 内科
- 神経精神科
- 神経内科
- 循環器科
- 小児科
- 外科
- 乳腺・内分泌外科
- 整形外科
- リウマチ外来
- スポーツ医学センター
- 形成外科
- 脳神経外科
- 心臓血管外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 放射線科
- 麻酔科
- リハビリテーション科
- 歯科口腔外科
- 病理科
- 内視鏡センター
- 女性医師外来
- 女性がん検診
- 禁煙外来

※各科の専門など詳細は<http://www.okn.gr.jp/> でご覧になれます
 ※診療内容、専門外来に関するお問い合わせは直接各科外来にお願いします

リウマチ外来 問 整形外科外来
 TEL (06) 6441-5451 (内線2109)

最新の薬物療法から脊椎・関節手術まで患者さんの状態に応じて幅広く対応しています。
 (診療日) 要紹介・予約制: 初診(月曜日)、再診(月・火・木・金曜日)

集中治療室(ICU)

大手術後、院内重症患者さんを集中的に治療する部門です。
 救急部と連携して脳・心疾患・外傷の救急患者さん等を受け入れ、治療しています。

救急部 問 TEL (06) 6441-5451 (代)

脳・心血管手術を含め、広く救急患者さんを受け付け、24時間手術可能です。
 小児、産婦人科の急患も受け付けます。

内視鏡センター 問 TEL (06) 6441-5451 (内線2191)

消化管の癌やポリープなどの早期発見、早期治療(内視鏡的手術)を目的としています。
 申 かかりつけ医の先生からFAX、またはお電話にてご予約後、当日紹介状を持参ください。胃カメラはかかりつけ医の先生のご予約後、直接検査が可能です。

予 FAX (06) 6441-0512 **かかりつけ医の先生専用**

地域医療

病診連携を推進し、地域医療施設とのコミュニケーションを図りつつ、在宅ケア活動を実施しています。

地域医療連絡室 TEL (06) 6441-5463 FAX (06) 6441-0512

患者さんの治療・療養が円滑に施行・継続されるよう、「かかりつけ医」との連携を深めています。

療養福祉相談室 TEL (06) 6441-5451 (内線2140)

患者さん、ご家族の抱えておられる問題点や不安を早期に解決し、在宅医療や看護を支援するため、地域医療施設や訪問看護ステーションと連携を取り合っています。
 退院後の療養施設の紹介や、介護支援も行います。また、医療費の相談や福祉制度のご案内も行っています。

スポーツ医学センター 問 (06) 6441-5451 (内線3101)

月~土の9:00~17:00 (木曜日は20:00迄)
 E-mail: spo-cen@okn.gr.jp (随時受付可)

健康増進や病気予防を目的とした一人一人に適した運動を、個別に指導いたします。
 安全で効果的な運動を、楽しみながら継続できるように、工夫を凝らしています。

申 完全予約制。センター受付にてあらかじめ、ご予約をおとりください。

人間ドック・脳ドック・肺がんドック 問 ドック相談室
 TEL (06) 6441-5451 (代)

生活習慣病やがんなどの早期発見・早期治療、発症の予防に役立ち、より健康的な生活をしていただくことが目的です。二日ドックと一日ドックがあります。

申 入院センター TEL (06) 6441-5451 (代)

問 は問い合わせ 申 は申し込み 予 は予約先を表しています

NICU (新生児集中治療室) 問 NICU 当直医
 TEL (06) 6441-5451 (代)

24時間体制で、新生児の集中治療を行っています。他医療機関からの母体搬送や、新生児搬送入院も受け入れ、地域周産期救急医療の一翼を担っています。

産科オープンシステム **かかりつけ医の先生専用**

地域診療所・助産所のシステム登録医(かかりつけ医)と当院が密接に連携して、当院にて出産を取り扱い、お産の安全性を高めるシステムです。

女性医師外来 問 医事課
 TEL (06) 6441-5451 (内線2161)

女性の方は女性医師による診察を受けることができます。
 (診療日) 毎週水曜日(受付時間 8:30~11:30)
 (診療科) 内科、皮膚科、産婦人科、小児科、眼科
 (受付窓口) 医事課初診窓口(①番窓口)

なお、女性医師の出張・異動等により、女性医師外来を休診している場合がありますので、ご了承ください。

申 当外来をご希望の女性患者さんは、医事課受付でその旨をお申し付けください。

乳がん検診 問 乳腺・内分泌外科外来
 TEL (06) 6441-5451 (内線2271)

乳がんの早期発見にお役立てください。
 (検診日) 毎月第4水曜日の午後1:00と3:00、
 毎週木曜日の午後4:00

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センター TEL (06) 6441-5451 (内線2153) まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日 14:00~17:00)

女性がん検診 問 産婦人科外来
 TEL (06) 6441-5451 (内線2279)

女性医師、女性スタッフによる乳がん・子宮がんのセット検診です
 (検診日) 毎週金曜日 午後2:00~午後3:40

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センター TEL (06) 6441-5451 (内線2153) まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日 14:00~17:00)

交通のご案内

- JR東西線 「新福島駅」下車(出口③)、徒歩約5分
- 大阪環状線 「福島駅」下車、徒歩約10分
- 阪神電車 「福島駅」下車、徒歩約10分
- 市バス 大阪駅前 79 →「福島西通」下車 大阪駅前 55 →「堂島大橋北詰」下車 大阪駅前 53 →「堂島大橋」下車
- タクシー 「大阪駅」より約10分

日本医療機能評価機構認定病院 / 大阪府「男女いきいき・元気宣言」登録事業者 / 「働きやすい病院」認定病院(第1号) / につけい子育て支援大賞受賞

大阪厚生年金病院 信頼に応える医療

〒553-0003 大阪市福島区福島 4-2-78
 TEL (06) 6441-5451 (代表) FAX (06) 6445-8900
<http://www.okn.gr.jp/> E-mail: hs_oosaka@kjp.or.jp
 この広報誌に対するご意見・ご要望は郵送かEメールで広報誌委員会宛まで